

東京都防災都市づくり推進計画
検討委員会
(平成30年度 第2回)

来年度の検討事項とスケジュールについて

平成31年3月28日

東京都都市整備局

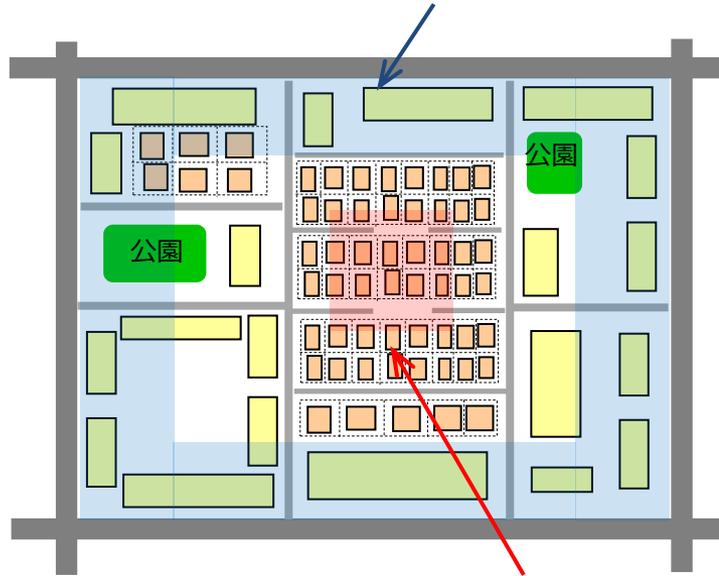
目次

1. 現状の課題について 1 P
2. 防災都市づくり推進計画の整備目標に対する進捗状況等について . . . 2 P
3. 公表までのスケジュール（案）について 3 P

1. 現状の課題について

(1) 建替えが進まない街区の改善

沿道の建替えなどにより不燃領域率が向上



周辺への延焼の危険性が高い街区が残る

- 【原因】
- ・ 無接道狭小のため、建替えが進まない
 - ・ 高齢者が多く、建替え意欲が低下
 - ・ 道路等の基盤整備が遅れている

(2) 木造住宅密集地域を東京ならではの街並みに再生

不燃化が進む一方、建て詰まりの解消が進んでいないため、対策が必要



路地に緑が配置された街並み
(墨田区京島)



防災拠点広場
(荒川区荒川)

2. 防災都市づくり推進計画の整備目標に対する進捗状況等について

| 延焼遮断帯の形成 | 形成率の進捗状況 (%) | | | 目標 (%) | 進捗状況 | 目標 (%) |
|----------------------------|----------------|------------------|---|---|---|---------------|
| | 平成18年 | 平成26年 | 現時点の進捗状況 | 平成32年度 | | 平成37年度 |
| 骨格防災軸 (河川を除く。) | 92 | 94 | H30.3公表、H28年度末時点 (H28都市計画道路現況図、H28土地利用現況調査) 64% | — |  | 98 |
| 整備地域内の延焼遮断帯 | 58 | 62 | | — | | 75 |
| 特定整備路線 | — | — | | 全線整備 | | — |
| 緊急輸送道路の機能確保 | 耐震化率の進捗状況 (%) | | | 目標 (%) | 進捗状況 | 目標 (%) |
| | 平成24年 | 平成27年 | 現時点の進捗状況 | 平成31年度 | | 平成37年度 |
| 特定緊急輸送道路沿道建築物 | 79 | 80 | H30.6公表、H30.6時点 (H30年6月末までに提出された耐震改修工事完了報告書) 84.3% ⇨ | 90 | | 100 |
| 一般緊急輸送道路沿道建築物 | — | 79 | | 79.7% ⇨ | | — |
| 市街地の整備 | 不燃領域率の進捗状況 (%) | | | 目標 (%) | 進捗状況 | 目標 (%) |
| | 平成18年 | 平成23年 | 現時点の進捗状況 | 平成32年度 | | 平成37年度 |
| 整備地域 | 56 | 58 H27参考値 62% | H30.3公表、H28年度末時点 (H28年度末の土地利用現況調査) 平均61.9% ⇨ 50.0%(羽田地域)~ 73.2%(東池袋・大塚地域等) | 70 |  | 70以上 (全地域) |
| 重点整備地域 | — | — H27参考値 56% | | 39.9%(大井5・7丁目、西大井2・3・4丁目)~ 74.4%(西新宿五丁目) ⇨ | | 70以上 (全地域) |
| 避難場所の整備 (23区) | 各箇所数の進捗状況 | | | 目標 | 進捗状況 | 目標 |
| | 平成20年 | 平成25年 | 現時点の進捗状況 | 平成32年度 | | 平成37年度 |
| 避難有効面積 (1㎡/人) が不足している避難場所数 | 3 | 1 | H30.6公表、H30.7指定 (H23年度末の土地利用現況調査等) 0 (解消) ⇨ | 0 (解消) | | 0 (維持) |
| 避難距離が3km以上となる避難圏域数 | 3 | 3 | | (【練馬区】大泉中央公園一帯、 【大田区】多摩川河川敷・ガス橋一体) 2 ⇨ | | 0 (解消) |

 今後、2040年代の市街地の将来像を見据えながら、2025年度等の整備目標を検討

3. 公表までのスケジュール（案）について

○2019年度のスケジュール（案）

